



令和 4 年 6 月 10 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉
〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8061

【 コロナはもう少しの辛抱です 】



アナベル（紫陽花）の季節です。二年前の今頃は、新型コロナの流行でオリンピックができるか、気をもんでいました。そして今も感染が続いています。

雨に濡れても、そのままでもアナベルの花は美しいし、六月の風物詩であり、日本の四季を感じる時です。

ご利用者の皆さんに、ワクチン接種をしていただき、施設全体でも感染防止に努め、がんばっております。しかし、まだまだ注意が必要で、マスク、手洗いの徹底等をもう少しの間、よろしく願いいたします。

コロナの感染は、銃弾こそ飛んではきませんが、まさに緩やかな戦争状態で、その重苦しい雰囲気には辛いものがあります。

ご利用者ご家族の皆様には面会制限等の不自由な生活で、いろいろとご迷惑をおかけし、心苦しい限りです。

そんな中ですが、今までもご利用者の皆様にお付き合いいただいている、ひよこハウスの園児たちは、4月からの新入園児も加えて、ようやく園生活に慣れてきました。

園庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿や、日々、成長していく姿を、ご利用者の皆様から目を細めて見守っていただき、それが、子どもたちを人として成長させる上で、とてもいい機会にもなっています。今の時代の子どもたちには、いろんな世代の大人に見守られて育つ機会には、なかなか恵まれませんので。

緑豊かな当複合施設には、背の高い樺（ケヤキ）があり、タケノコ狩りを楽しめる竹林もあり、四季折々、植物の成長を見つめつつ過ごしていただけます。

コロナ禍のうっとうしさを吹き飛ばすように、自然豊かな緑の環境を生かし、またご利用者の皆様・ご家族の皆様のご協力をいただき、より充実した日々、潤いのある生活になりますように、職員一同、工夫をしております。

先月 5 月には、中庭で元気に泳ぎ、子どもたちやご利用者の皆さんを楽しませてくれた鯉のぼりに替わり、6月の飾りつけも、ひよこハウス豊田の皆さんに考えてもらいましょう。

感染予防のために、いろいろと不自由な生活を願うことは、心苦しい限りですが、ご利用者・ご家族の皆さん、今月もよろしく願い申し上げます。

佐々木 榮一

